

## 試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：湿式輸送によるバラ切り花の品質保持			
[要約] バラの主要品種「ローテローゼ」は、乾式（箱）輸送より、抗菌剤を加えた湿式輸送で品質保持期間が長くなる。採花する際は、切り前を厳守し、採花後の保管時間は出来るだけ短くし、輸送温度は10 とする。			
キーワード バラ、湿式輸送、バケツ輸送、切り花			
実施機関名 主 査 農業総合研究センター・暖地園芸研究所・花き研究室 協力機関 （独）農業・食品産業技術総合研究機構花き研究所、北海道立花・野菜技術センター、和歌山県農林水産総合技術センター、クミアイ化学工業（株）			
実施期間 2004年度～2006年度			

### [ 目的及び背景 ]

各種のアンケート調査結果からホームユース用の切り花において、花持ちは最も重要な品質構成要素の一つとされていること等から、近年、バケツ輸送（湿式輸送）の流通体制が整備されつつある。そこで、この輸送方式を活用し、花持ちの向上による消費拡大を図るため、抗菌剤等との併用処理法を検討する。

### [ 成果内容 ]

- 1 湿式輸送の品質保持期間は、輸送温度が10 > 15 > 5 > 常温（23～25 ）の順で長く、いずれも常温・乾式輸送よりも優れていた（表1）。
- 2 保管時間（収穫後出荷までの時間）が26時間では、輸送温度が15 湿式あるいは常温湿式輸送で、露心（咲き切り芯が見える状態）まで至らないものがあつた（表1）。
- 3 水揚げ不良は、バクテリアが原因で起こる。抗菌剤の連続使用（前処理、輸送処理）により増殖は、抑制できる（表2）。
- 4 早切り（切り前2：「花の切り前」誠文堂新光社）では、品質保持期間が短くなる（図1）。

### [ 留意事項 ]

#### [ 普及対象地域 ]

県下バラ栽培者

#### [ 行政上の措置 ]

バケツ輸送のための流通体制整備

[ 普及状況 ]

導入 8 戸 / 県内バラ生産者 55 戸

[ 成果の概要 ]

表 1 保管時間及び輸送温度と切り花の品質保持期間

処理区		露芯まで到達した	品質保持期間
保管時間	輸送温度	花の割合 (%)	日数 (日)
2時間	5 ・湿式	100	7.2 ± 1.0
	10 "	100	9.2 ± 1.2
	15 "	100	8.2 ± 1.0
	常温 "	100	6.2 ± 0.4
(対照区)	常温・乾式	100	5.4 ± 0.2
26時間	5 ・湿式	100	6.3 ± 0.6
	10 "	100	8.0 ± 0.4
	15 "	60	6.4 ± 0.6
	常温 "	80	5.6 ± 0.4
(対照区)	常温・乾式	100	6.4 ± 1.2

表 2 処理液中のバクテリア生菌数 (cfu/ml)

輸送方式	輸送前	輸送後
乾式	245	-
湿式 (蒸留水)	109	182
湿式 (抗菌剤)	1	1
湿式 (抗菌剤 + 糖2%)	2	1

抗菌剤：レジェンドMK + 硫酸アルミニウム

糖：スクロース

輸送前：前処理5 24時間後測定

輸送後：10 24時間後測定

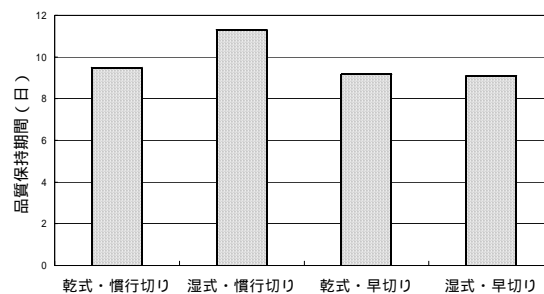


図 1 切り前及び輸送方法が品質保持期間に及ぼす影響  
慣行切り (切り前「4」) 早切り (切り前「2」)

[ 発表及び関連文献 ]

平成 18 年度試験研究成果発表会 (花植木部門)

平成 17 ~ 18 年度暖地園芸試験成績書

[ その他 ]

- ・平成 16 ~ 18 年度農林水産試験研究高度化事業「近郊暖地に適したバケツ流通システム」の確立」